

第2回厚生・教育部会協議を踏まえた対処方針及び計画への反映 【第5編】

No.	意見	対応方針・施策への反映	編-章-節 等
1	<p>幼少期からのジェンダー教育は非常に重要なことだと思う。ジェンダーギャップ解消について、具体的な計画に対して何か反映されているものがあるのかというのが非常に気になっている。</p>	<p>小中学校では、児童生徒の発達段階に応じたジェンダー教育を行っております。</p> <p>学校教育分野の具体的な事業につきましては、総合計画の個別計画となる「上田市教育支援プラン」に掲げており、同プランの次期改訂時（令和7年度）に、施策として位置付けたいと考えております。</p>	5-1-1
2	<p>「5-1-1」の全体の部分に通じるが、これらの施策を行う条件として教員の確保が最初にくるのではないかと。基本施策の方向性や、項目として教員の確保や質の向上、教育改革というところが入ってくる方が、教育基本計画等と連動性が出るのではないかと。</p>	<p>総合計画や個別計画に掲げた施策を推進するためには、御意見のとおり、教員の役割が大変重要となっております。</p> <p>今回いただいた御意見につきましては、個別計画となる「上田市教育支援プラン」の次期改訂時（令和7年度）に、施策として位置付けたいと考えております。</p> <p>教員の確保等につきましては、市町村レベルの取組では限界がございますが、業務の効率化、集約化などの支援を行い、教員の働き方改革の推進に努めてまいります。</p>	5-1-1
3	<p>子どもたちの主体的な体験活動はとても大事。学生期に市外に出ても、その体験が上田市に戻りたいという感情に繋がる。職場体験や総合学習の場で経験したことが、子どもたちはとてもおもしろかった、上田市が好きになったという意見が多く聞かれる、そういう活動をして頂きたい。</p>	<p>「上田市教育支援プラン」の基本目標に『ふるさと「上田」を愛する心を育む』を掲げております。コロナ禍以降、小中学校の体験活動は確かに減少していますが、体験活動が持つ教育的効果は大であります。地域住民や地元企業の御協力をいただき、児童生徒に学びの場を提供してまいります。</p>	5-1-1

4	<p>P 7 施策の方向性④「中学校部活動の地域クラブ活動移行を契機に、～」という部分、最後の「すべての生徒」という言葉を入れることがどうなのか。</p> <p>移行と同時にすべての子たちが活動できるのが一番だが、理由があってできない子も出ると思う。多様性や人権も考えると「すべて」という言葉の重みを考えてほしい。</p>	<p>中学校部活動が地域クラブ活動に移行することは、地域の様々な活動の中から、生徒が主体的にやりたい活動を選べる契機となります。しかしながら、活動への参加を選択しない、あるいは参加したい活動の選択肢がない生徒もいることを鑑み、文言から「すべて」を削除することといたします。</p>	5-1-1
5	<p>5-1-2</p> <p>8. SDGs17つの基本目標との関係性</p> <p>「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」も新計画では該当(○)とした方が良いのでは？</p>	<p>5-1-2</p> <p>8. SDGs17つの基本目標との関係性</p> <p>「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」を新計画では該当(○)とします。</p>	5-1-2
6	<p>5-1-2</p> <p>「4. 各主体に期待される主な役割分担」(主体:大学)</p> <p>○「まちなかキャンパスうえだ」について、学生のなかで認知度が低い※1と感じています。学生への認知度を上げるために、より学生へ踏みこんだ企画や発信※2が求められていると考えます。</p> <p>(※1「施設の利用」ができる場所・「地域活動の提案や相談」ができる場所が市内にあることを知らず、困っている学生を見ることが度々あります。)</p> <p>(※2例えば、サークル団体に対して施設の紹介を行う・学生が多く集まるようなイベントを定期的に行う・講義で施設を使用する頻度を増やす等)</p>	<p>総合計画の施策等には個別具体的な施設や事業などについては触れておりませんので、基本施策1の「① 大学・学生・地域の住民及び企業等との交流、連携を深め、地域の活性化に向けた取組を推進します。」で展開させていただきたいと存じます。</p> <p>御意見いただきました「まちなかキャンパスうえだについて、学生への認知度を上げるために、より学生へ踏みこんだ企画や発信が求められている。」のとおり、市内各大学とも連携し、施設の紹介や学生が集まれるイベント企画などで施設利用者を増やしていきたいと考えております。</p>	5-1-2

7	<p>5-1-2</p> <p>「4. 各主体に期待される主な役割分担」 (主体：大学・学生)</p> <p>○市内5つの大学（長野大学、信州大学、長野県工科短期大学、上田短期大学、筑波大学山岳科学センター）の学生同士の関わりがさらに活発化することで、地域活動のさらなる充実が期待できると考えます。</p> <p>そのため、例えば「各大学の学生同士が合同で講義を行う」「インターカレッジサークルのうごきを活発化させる」など、つながりをさらに深めていくことが必要ではないかと考えます。</p>	<p>5-1-2</p> <p>「4. 各主体に期待される主な役割分担」</p> <p>学生：市内の他大学学生同士の交流を活性化させ、地域活動の更なる充実を図ります。</p> <p>の文言を追加させていただき、地域活動の充実が図れればと考えております。</p>	5-1-2
---	--	--	-------